

東南村山 おいしい米づくり情報

第7号 穂肥編

発行：令和6年7月3日発行
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部
村山総合支庁農業技術普及課
(TEL：023-621-8295)

出穂はやや早まる見込み！適期適量の穂肥で高品質米を！

生育状況（6/28 現在、村山農業技術普及課生育診断圃）

・草丈は平年並～長く、茎数は多く、葉数はやや多い～多く、葉色はやや淡い～淡い状況です。

【表1 生育診断圃の調査結果 6/28 現在】

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
はえぬき (山形市羽黒堂)	本年	48.4	608	9.5	42.4
	平年	43.6	593	9.0	44.6
	平年比	111	103	0.5	-2.2
つや姫 (山形市南石関)	本年	48.7	626	9.1	39.0
	平年	42.3	502	8.8	40.4
	平年比	115	125	0.3	-1.4
雪若丸 (山形市羽黒堂)	本年	38.6	655	9.6	42.2
	平年	39.2	564	9.0	44.9
	平年比	98	116	0.6	-2.7

- ・中干しを行っていない圃場は**直ちに実施し、無効分けつの抑制と根の活力向上**を図りましょう。
- ・一発肥料を施用した圃場は「中干し」で生育量を調整します。茎数が多い圃場や葉色が濃い圃場では、「やや強めの中干し」で生育の制御を行いましょう。

穂肥

- ・穂肥の施用時期は、下表を目安とし、品種ごとの生育診断に基づき施用量を決定しましょう。
- ・出穂はやや早まる見込みです。遅れずに穂肥を実施しましょう。

品種	出穂期 (本年予想)	穂肥の タイミング	穂肥時期の 目安	施肥量 (Nkg/10a)
ひとめぼれ	7月31日～8月2日	出穂20日前	7月11～13日	1.5
はえぬき	8月1～3日	出穂25日前	7月7～9日	2.0
雪若丸	8月1～3日	出穂25日前	7月7～9日	1.5
つや姫	8月6～8日	出穂30日前	7月7～9日	1.0～1.5
コシヒカリ	8月6～8日	出穂15日前	7月22～24日	1.0～1.5

- ・葉色が濃い圃場は**減肥対応**とし、玄米タンパク質含有率の上昇を防ぎましょう。
- ・出穂間際の穂肥は、玄米タンパク質含有率が高まり、食味低下するため、行いません。
- ・雪若丸に補完追肥を行った圃場は、施用した窒素分を穂肥窒素量から減肥します。

中干し後の水管理

- ・中干し終了後は、足跡に水がたまる程度まで走水を行い、徐々に**間断かん水(2日湛水、2日落水)**に移行します。
- ・幼穂形成期(出穂 25 日前頃)～穂揃期は**水分や酸素を多く必要とするため、出穂期まで間断かん水を継続**しましょう。
- ・農業用水を地域内で有効に活用するため、**適期・適正な灌水に努め**ましょう。

斑点米カメムシ類対策 (7/2 病害虫防除所注意報発表)

- ・平年より発生が**多くなっています!**
- ・畦畔と圃場周辺の草刈り、除草剤散布を行い、**発生源をなく**しましょう!
- ・出穂間近の草刈りは、カメムシ類を水田に追い込んでしまうため、出穂 2 週間前頃には**終了**しましょう。
- ・水田内にノビエ、ホタルイ等が残っている圃場が見られるため、**残草対策を確実に**行いましょう!



【草刈り強化期間 7月 10日~20日】

地域ぐるみで草刈りに取り組むことが重要です!

地域全体でカメムシ被害防止を図りましょう!

いもち病対策

- ・圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょう!
- ・育苗箱施用薬剤の持続効果は 7 月上旬～中旬頃のため、7 月中旬以降はいもち病の発生リスクが高まります。
→**7 月中旬以降、早めに予防剤を散布**しましょう!
- ・いもち病の発生が確認されたら、**治療効果のある薬剤**で発生初期に防除しましょう!



葉いもちの病斑

~STOP 農作業事故~

農作業中の転落・転倒事故を防ぎましょう。
熱中症に要注意! 作業中はこまめに水分補給と休憩を取りましょう。

管内の稲作情報を
LINE に掲載しています!

QRコードを読み込んで、
グループ登録をして下さい。



稲作情報